

茨城県保健所で働く

現役医師と話せる オンライン・カフェ

私服参加 OK！
途中参加・退出自由

「医師のキャリアにこんな選択肢もあるんだ」臨床、研究だけじゃない。
地域社会と向き合い、人々の暮らしを支える——そんな医師の役割があることを、知っていますか？
現役の公衆衛生医師が自らの経験をもとに語ります。将来のヒントがきっと見つかるはずです。

第1回 令和7年 8月20日 水 18:00～19:30

テーマ：公衆衛生医師のキャリア紹介

第2回 令和8年 2月17日 火 18:00～19:30

テーマ：公衆衛生医師の業務と役割

スケジュール

- 18:00～ 開会の挨拶
- 18:10～ 公衆衛生医師による
プレゼンテーション
- 18:45～ 小グループに分かれてのフリートーク
- 19:20～ 閉会の挨拶
- 19:30 終了

実施方法

 Zoom によるオンライン開催

対象 茨城県で公衆衛生医師として働くことに興味のある医学生・研修医・医師の方
(育児・介護などでお休み中の方も歓迎です)

内容 ・現役医師の自己紹介（キャリアについてなど）
・グループに分かれてのフリートーク
(仕事のやりがい、ワークライフバランス、
臨床医との違いなど何でも質問してください！)

参加する公衆衛生医師

A 保健所

所長 (卒後 32 年目)

印象に残った業務

令和 6 年能登半島地震での DHEAT 活動です。災害医療の現場で行政の果たす役割の大きさを実感しました。

入職前の経歴等

小児心臓血管外科医として 28 年、茨城県内では外科医・公衆衛生医師として 19 年勤務しています。

B 保健所

所長 (卒後 29 年目)

参加者へのひとこと

私の経験が、臨床からのキャリアチェンジを検討されている先生方の参考になれば幸いです。

入職前の経歴等

呼吸器外科医として 20 年、直近 3 年間は COVID-19 診療に専従していました。

C 保健所

所長 (卒後 23 年目)

印象に残った業務

食中毒疑い事例や麻しんなどの感染症、災害などの、突然発生する健康危機事案への対処です。

入職前の経歴等

一般内科医として、地域医療に約 10 年従事していました。

D 保健所

所長 (卒後 18 年目)

印象に残った業務

コロナ対策で県の施策に関わり、医療機関と行政の連携を担えたことが印象に残っています。

入職前の経歴等

産婦人科医として 10 年ほど臨床に従事していました。

申込方法：右の二次元コードのウェブサイトよりお申し込みください。

問合せ先：筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野

担当：渡邊 TEL：029-853-8849

(このオンライン・カフェは茨城県からの受託事業「公衆衛生医師育成プログラム」により実施されています)

